



つながり、共に創るまち こだいら

# 小平市 令和8年度当初予算（案）

～つながる笑顔と未来を育む予算～





# 令和8年度 予算の編成にあたって

令和8年度予算は、小平市第四次長期総合計画に掲げる「つながり、共に創るまち こだいら」の実現に向けて、引き続く物価高騰など社会・経済情勢の先行きを見通すことが難しい中、選択と集中により、真に必要な施策・事業に、限られた財源を重点的かつ効率的に配分するとともに事業構築における創意工夫などにより、

**「つながる笑顔と未来を育む予算」**

として、編成しました。



# 令和8年度一般会計の予算（案）

## 951億円

（対前年度比：+48億1,400万円 / +5.3%）

（単位：千円、%）

会計区分	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
一般	95,100,000	90,286,000	4,814,000	5.3
国民健康保険事業	17,865,000	17,852,000	13,000	0.1
後期高齢者医療	5,955,000	5,466,000	489,000	8.9
介護保険事業	17,243,000	16,891,000	352,000	2.1
合計	136,163,000	130,495,000	5,668,000	4.3

下水道事業会計	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
収入合計	5,796,987	5,447,751	349,236	6.4
支出合計	6,470,385	6,182,108	288,277	4.7



つながり、共に創るまち こだいら

# 令和8年度 主要事業



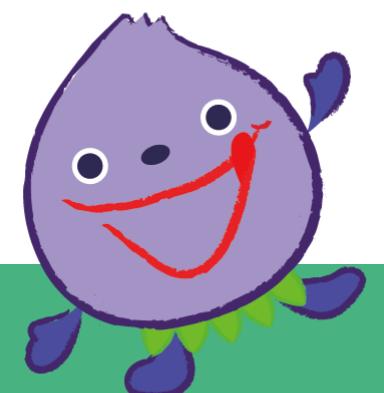


# 3つの特徴的な取組

新施設のオープン

子育て・教育で選ばれるまち

DXの推進

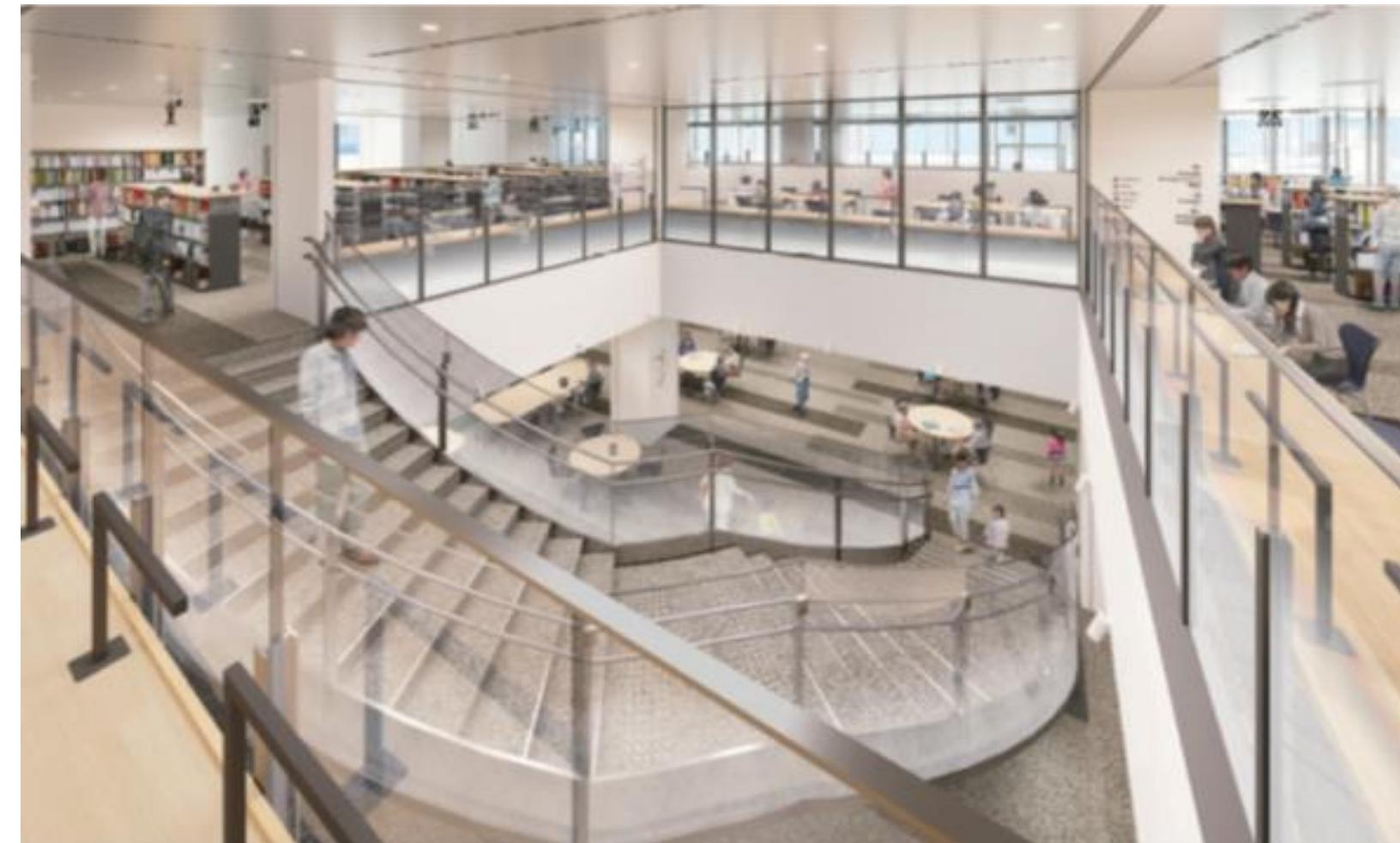




No.39

市長  
公約

## 小川駅西口複合施設事業



新公共施設のイメージ（吹き抜け周辺）

- 令和8年度上半期再開発ビル完成
- 令和8年秋以降、ビルの4～5階に新公共施設「小川パレット」をオープン
- ビル北西側には小川パレット広場を整備

既存の施設から移転する機能	小川西町図書館 小川西町公民館 男女共同参画センターひらく 市民活動支援センターあすぴあ 西部出張所
新たな機能	キッズスペース、個人向け貸出スペース、 防音スタジオ、カフェ等

【予算】 40億9,426万7千円

【担当】 市民協働・男女参画推進課、公民館、図書館、市民課



No.20

市長  
公約

# 中央公園グラウンド改修事業



- 公募設置管理制度（Park-PFI）による、設計施工・管理運営
- 施設の機能性の向上やメンテナンスを考慮した良好なグラウンドに改修
- 令和9年4月利用開始予定  
事業者 こだいらパークコネクトグループ

整備イメージ（計画内容の一部が変更となる場合があります。）

【予算】6億4,830万9千円

【担当】文化スポーツ課



No.44

## 鷹の台公園の整備

市長  
公約



整備イメージ（計画内容の一部が変更となる場合があります。）

- 公募設置管理制度（Park-PFI）による、公園整備。令和8年度から工事開始。  
地域課題解決の活動拠点に
- コネクトセンター（飲食店等）、パークセンター、貸店舗、芝生広場、緑の回廊、遊具、コミュニティガーデンなどを整備
- 令和9年度中にオープン予定  
事業者 こだいらパークコネクトグループ

【予算】4億1,500万円 【担当】水と緑と公園課



No.4

# 若者の力を活用した 子どもの遊びの機会の創出

新規



- 若者メンバーで構成するチームを結成し、こども・若者や親子が交流できる遊び場イベントを企画、開催
- 子どもの遊びの機会を創出するとともに、若者の地域活動への参画を推進

【予算】590万5千円

【担当】こども若者みらい課  
(現 子育て支援課)



No.17

## 部活動地域展開・地域連携事業の推進

拡充



- 市立中学校一つの部活動の休日の活動について、地域クラブ活動を開始
- アルティメット地域クラブの創設に向けた小学校第6学年児童を対象としたアルティメット教室

【予算】 344万6千円

【担当】 指導課



No.33

## 医療的ケア児等 コーディネーターの配置

新規



- 市内で豊富な支援実績を有する事業所に医療的ケア児等コーディネーター業務を委託
- 保健、医療、福祉、教育等の多分野にまたがる支援を調整し、包括的な支援につなげるとともに、医療的ケア児支援のための地域づくりを推進

【予算】568万7千円

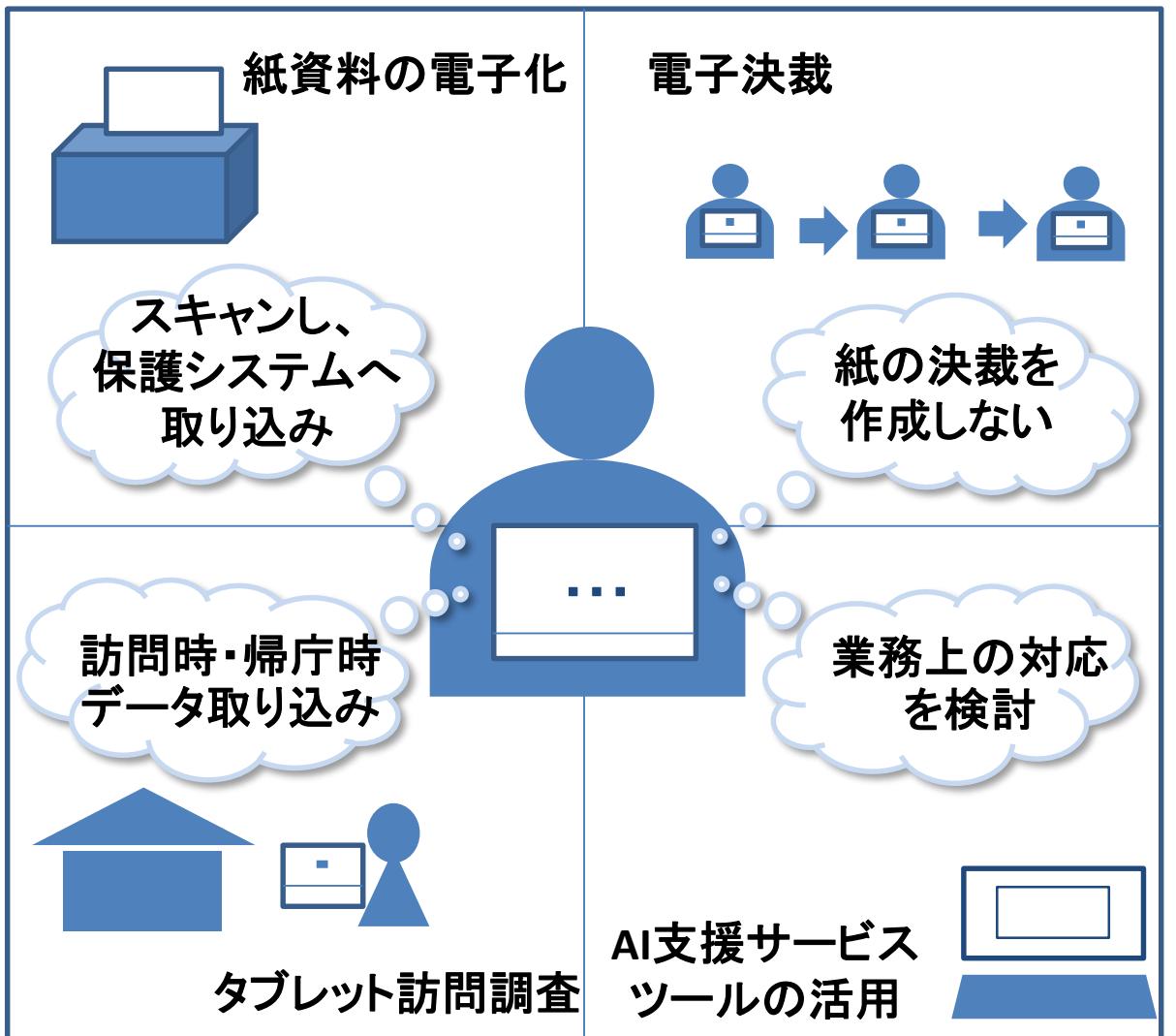
【担当】障がい者支援課



No.69

# 生活保護システムの機能追加と ケースワークAI支援サービスの導入

新規

市長  
公約

- ケースワーカーの事務処理負担の軽減や紙資料の電子化、訪問に係る個人情報への配慮を図るため、生活保護システムに、電子決裁機能、タブレット訪問調査機能を追加し、ケースワーカーの業務を効率化
- 生活保護ケースワークのためのAI支援サービスツールを導入

【予算】1,925万9千円

【担当】生活支援課



No.72

# 戦略的広報の推進

新規

市長  
公約

若い世代への発信を強化

■戦略的広報の推進を図るため、専門的な知見を有する外部専門人材を任用

■外部専門人材の支援を受け、特にSNSの利用率が高い若い世代（20～40代）をターゲットとしたSNS発信について改善・強化

【予算】98万8千円

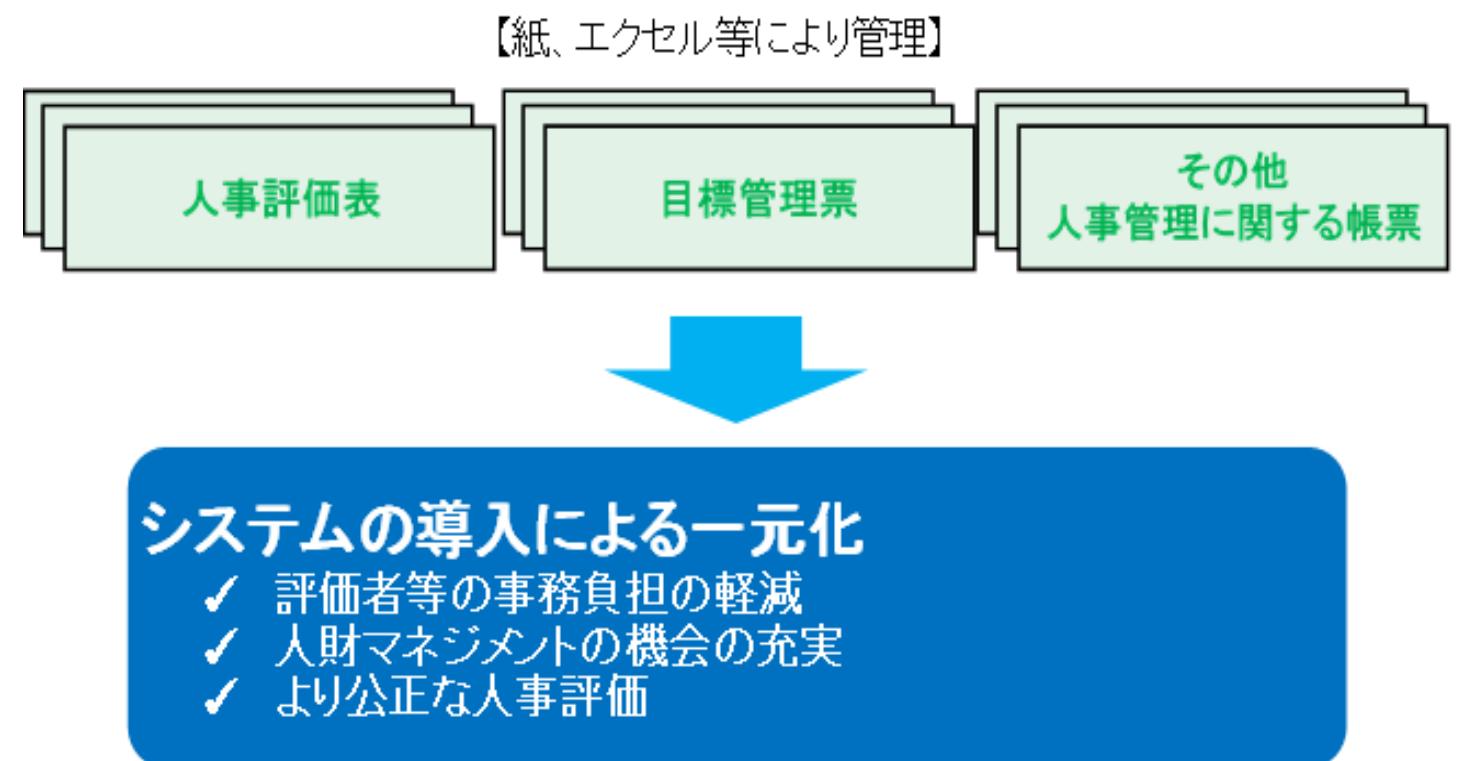
【担当】シティプロモーション課  
(現 秘書広報課)



No.73

# 職場環境の充実 (人事評価システムの導入)

新規

市長  
公約

- 職員の人事評価及び人事管理に関する事務等を新たにシステム化することにより、評価者等の事務負担を軽減し、さらなる人財マネジメントの機会を充実
- 効率的かつ一体的管理が可能
- 研修実績・資格の有無などもシステムで管理

働きたい、働き続けたい職場づくりを推進

【予算】 809万4千円

【担当】 職員課